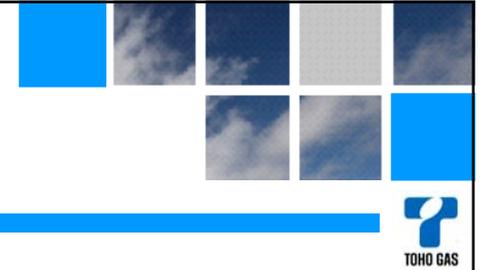


# 2014年度連結決算 説明資料



2015年4月30日  
東邦ガス株式会社

# 目 次



1. 2014年度決算の概要	3
2. 2015年度の見通し	10
<トピック> 中期経営計画達成に向けた取り組み	14
<参考> 中期経営計画目標の進捗	18

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

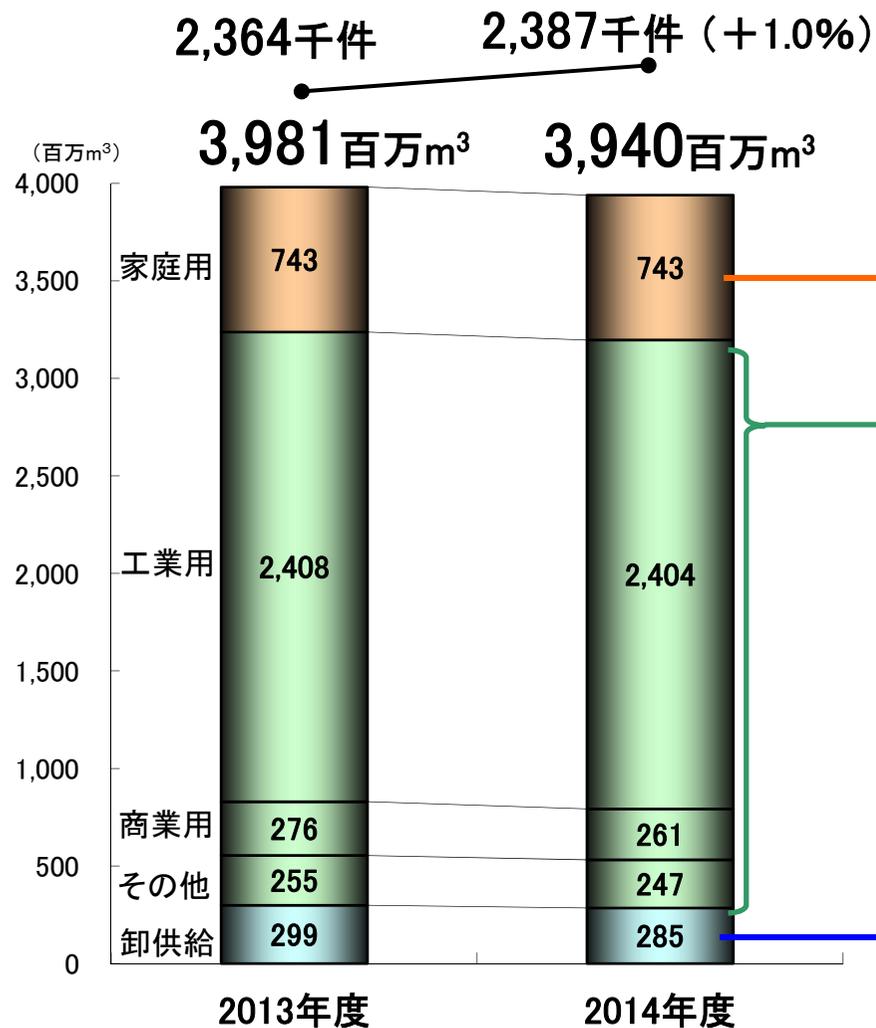
# 1. 2014年度決算の概要

## (1)まとめ



- ガス販売量は3,940百万m<sup>3</sup>、対前年1.0%減  
LPG販売量は430千トン、同2.0%増
- 売上高は5,809億円、対前年3.7%増  
経常利益は295億円、同73.1%増

## (2) お客さま数・販売量(2014年度)



### 都市ガス

△ 41百万m³ (△1.0%)

家庭用 + 0百万m³ (+0.0%)

お客さま数が増加した一方で、冬場の気温が前年に比べ高かった影響等により前期並み

業務用 △ 27百万m³ (△0.9%)

需要開発を進めたものの、お客さま設備の稼働減少や夏場の低気温による空調需要の減少等により減少

卸供給 △ 14百万m³ (△4.6%)

### LPG

お客さま数※+3.7%: 440千件 → 456千件  
※お客さま数には配送受託件数含む。

販売量 +2.0%: 421千トン → 430千トン

平均気温 (対前年比較)	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
	19.4°C(+0.5°C)	26.0°C(△1.4°C)	12.5°C(△0.2°C)	6.8°C(+0.4°C)

### (3) 収支状況

単位：億円



	2014年度	2013年度	増減	増減率	計画 (3Q決算時)	増減
ガス販売量 (億m <sup>3</sup> )	39.4	39.8	△ 0.4	△ 1.0%	39.8	△ 0.4
売上高	5,809	5,604	205	3.7%	5,950	△140
売上原価	4,104	4,142	△ 38	△ 0.9%	—	—
供給販売費 一般管理費	1,417	1,304	113	8.7%	—	—
経常利益	295	170	124	73.1%	260	35
当期純利益	190	112	78	69.5%	165	25

(注) 原油価格(全日本CIF) : 2014年度 90.4ドル/バレル、2013年度 110.0ドル/バレル(19.6ドル安)  
 為替レート(TTM) : 2014年度 109.8円/ドル、2013年度 100.2円/ドル (9.6円安)

## (4) 経常利益 増減要因 (2014年度)



### ◆ 対前年

経常利益 (170億円 ⇒ 295億円)      + 124億円

■ ガス販売量の影響      △ 5億円

■ スライドタイムラグの影響      + 185億円  
(2013年度 △145億円 ⇒ 2014年度 +40億円)

■ 固定費の増加      △ 120億円

■ その他      + 64億円

## (5) 経常利益 増減要因 (2014年度)



### ◆ 対計画 (3Q決算時)

経常利益 (260億円 ⇒ 295億円)      +35億円

- ガス販売量の影響      Δ10億円
- スライドタイムラグの影響      +40億円  
(前回 ± 0億円 ⇒ 今回 +40億円)
- 固定費の増加      Δ55億円
- その他      +60億円

## (6) 財政状況

単位：億円



	2014年度	2013年度	増減		2014年度	2013年度	増減
総資産	5,432	5,097	335	営業CF	623	378	245
(投資有価証券 評価益)	(541)	(414)	(126)	投資CF	△378	△330	△48
純資産	2,828	2,458	369	(フリーキャッシュフロー)	(244)	(47)	(196)
自己資本 比率	52.1%	48.2%	3.9 ポイント	財務CF	△201	△28	△173
有利子負債	1,497	1,645	△148	現預金の増減額	51	24	26
ROA	3.6%	2.2%	1.4 ポイント	新規連結に伴う増加額	—	1	△1
ROE	7.2%	4.7%	2.5 ポイント	現預金期末残高	194	142	51
				設備投資額	365	330	34
				減価償却費	339	357	△18

## (7) 株主還元

- 14年度の期末配当金を5.0円に増配予定  
(14年度は通期で9.5円、15年度は通期で10円を予定)
- 自己株取得: 上限400万株、30億円の取得を決議

### <参考> 株主還元の推移

(単位: 億円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
当期純利益(a)	109	144	85	85	112	190
配当 (1株あたり配当)	44 (8円)	44 (8円)	46 (8.5円)	49 (9円)	49 (9円)	51 (9.5円)
自己株取得	29	27	—	—	—	30
配当+自己株(b)	74	71	46	49	49	81
(b) / (a)	68%	49%	54%	58%	44%	43%

## 2. 2015年度の見通し

### (1)まとめ



- ガス販売量は対前年1.7%増の4,005百万m<sup>3</sup>、LPG販売量は同3.4%増の444千トンを見込む
- 原油価格75ドル/バレル  
(上期70ドル/バレル、下期80ドル/バレル)、  
為替レート125円/ドルの前提で、  
売上高は対前年9.6%減の5,250億円、  
経常利益は同1.6%増の300億円を見込む

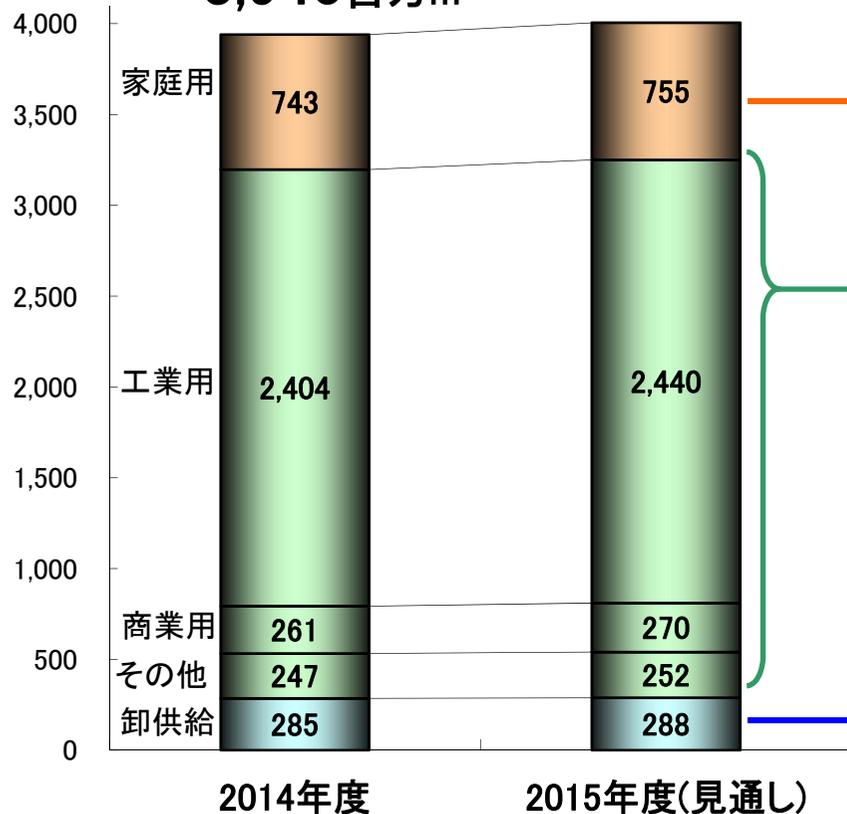
## (2)お客さま数・販売量(2015年度)



2,387千件 → 2,407千件 (+0.8%)

**都市ガス** +65百万m<sup>3</sup> (+1.7%)

(百万m<sup>3</sup>)  
3,940百万m<sup>3</sup> → 4,005百万m<sup>3</sup>



**家庭用** + 12百万m<sup>3</sup> (+1.6%)

**業務用** + 50百万m<sup>3</sup> (+1.8%)

燃焼分野を中心とした需要開発による増加

**卸供給** + 3百万m<sup>3</sup> (+0.9%)

**LPG**

平均気温	16.2°C	16.5°C	+0.3°C
------	--------	--------	--------

お客さま数※ +1.0%: 456千件 → 461千件

※お客さま数には配送受託件数含む

販売量 +3.4%: 430千トン → 444千トン

### (3) 2015年度の見通し

単位：億円



	2015年度 見通し	2014年度	増減	増減率
ガス販売量 (億m <sup>3</sup> )	40.0	39.4	0.6	1.7%
売上高	5,250	5,809	△559	△9.6%
経常利益	300	295	4	1.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益※	210	190	19	10.2%
設備投資額	470	365	104	28.5%
減価償却費	340	339	0	0.1%

※2015年度から「親会社株主に帰属する当期純利益」へ表記が変更。2014年度は「当期純利益」。

【前提】

(単位：\$/bbl、円/\$)

【感応度(年間)】

	2015年度	2014年度(実績)	増減
原油価格	75(上期70 下期80)	90.4	△15.4
為替レート	125	109.8	+15.2

	原材料費	粗利益
原油価格 1\$/bbl	24億円	8億円
為替レート 1円/\$	16億円	6億円

## (4) 経常利益 増減要因 (2015年度)



### ◆ 対前年

経常利益 (295億円 ⇒ 300億円)      +    4億円

■ ガス販売量の影響      +    20億円

■ スライドタイムラグの影響      ±    0億円  
(2014年度 +40億円 ⇒ 2015年度 +40億円)

■ その他      △    16億円

# <トピック> 中期経営計画達成に向けた取り組み



中期経営計画(2014年3月発表、期間:2014~2018年度)

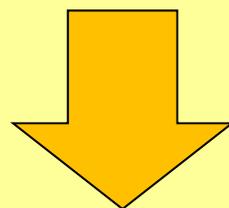
## 《コンセプト》

### 『強いガス事業の構築』

厳しい競争環境においても、  
お客さまから信頼され必要とされ続ける  
強いガス事業を構築する

### 『さらなる成長への挑戦』

経営環境の変化によって拡大する  
ビジネスチャンスをつえ、  
さらなる成長に向けた基盤を築く



自由化時代にも選ばれ続ける企業として地域とともに発展する

# <トピック> 中期経営計画達成に向けた取り組み

## ①原料調達が多様化



### 【ポートフォリオ契約】

(ペトロナス・エルエヌジー・リミテッド社)

#### ○概要

契約期間：2017年4月から10年間、契約数量：7～9隻/年(予定)

#### ○ポイント

- i) 当社初のポートフォリオ契約によるLNG購入 ⇒ 調達地域の多様化
- ii) 原油価格および米国天然ガス価格に連動 ⇒ 価格指標の多様化

### 【米国キャメロンプロジェクトからの調達】

(ダイヤモンド・ガス・インターナショナル社)

#### ○概要

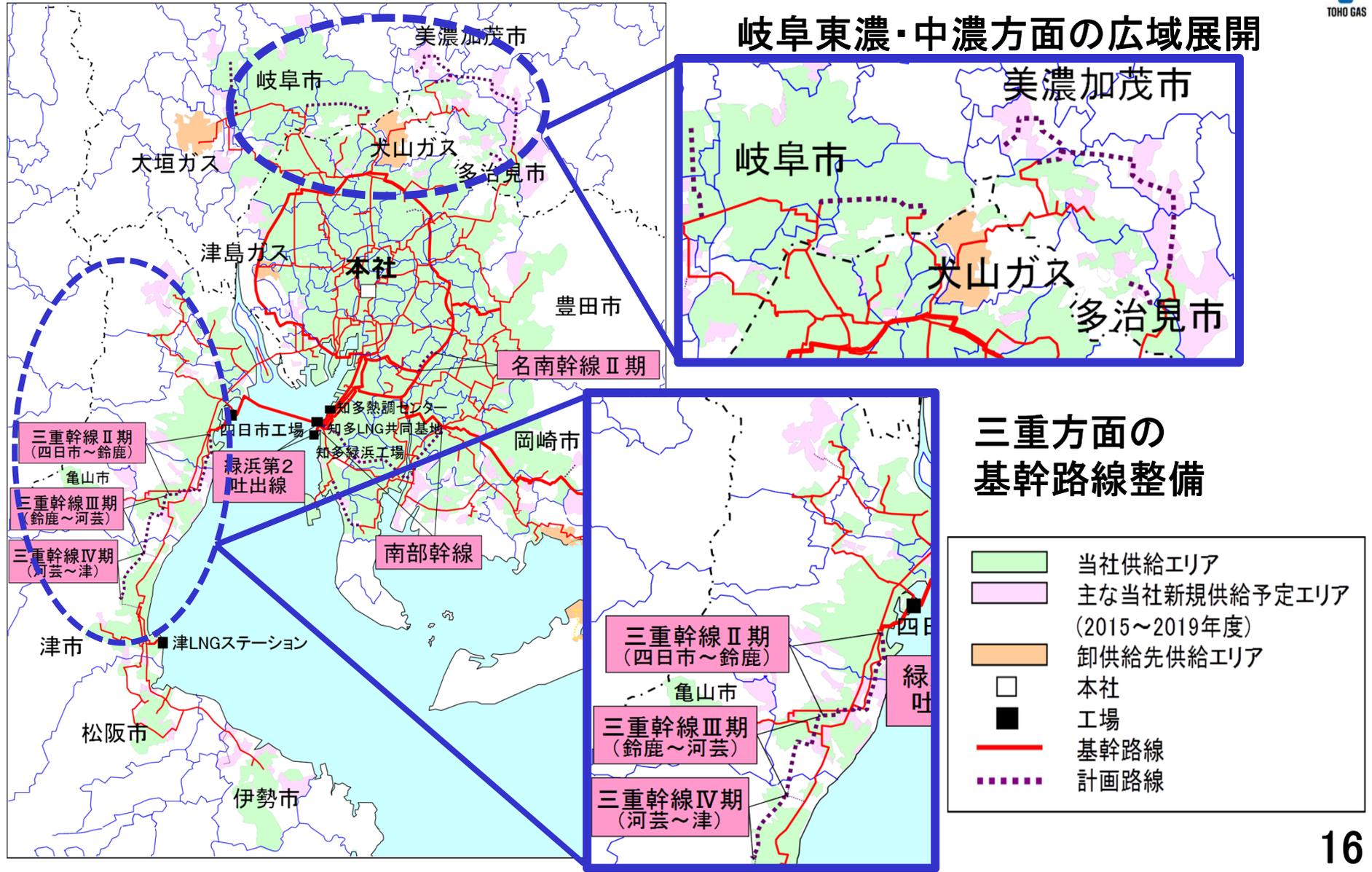
契約期間：生産開始(2018年予定)から20年間、契約数量：3隻/年

#### ○ポイント

- i) 北米からのLNG購入 ⇒ 調達地域の多様化
- ii) 米国天然ガス価格に連動 ⇒ 価格指標の多様化

# <トピック> 中期経営計画達成に向けた取り組み

## ② 需要開発に向けた広域導管投資



## <トピック> 中期経営計画達成に向けた取り組み

### ③ 総合エネルギー事業の展開



- 2016年から電力販売に参入
  - お客様のニーズに応じて、ガスと電気のセット販売を開始
  - 電気事業推進組織の設置(2015年4月)
  - 他社との連携による調達や自社での電源設置などを計画
  
- スマートタウンの構築
  - スマートタウン(港明 I 期開発)でのエネルギー供給を開始(2017年予定)
    - 電力の特定供給
    - ガス・電気・熱の一括供給
    - 集合住宅での高圧一括受電

## <参考> 中期経営計画目標の進捗



		2014 年度	2015 年度	増加率	中計目標 2018年度	2013~18年度 平均伸び率	ビジョン目標 2022年度
お客さま数	天然ガス	239万件	241万件	+0.8%	246万件	+0.8%	250万件
	LPG*1	46万件	46万件	+1.0%	48万件	+1.8%	50万件
販売量	天然ガス*2	40億m <sup>3</sup>	41億m <sup>3</sup>	+1.7%	45億m <sup>3</sup>	+2.2%	50億m <sup>3</sup>
	LPG	43万トン	44万トン	+3.4%	47万トン	+2.3%	50万トン

\*1 お客さま数(LPG)には、配送受託件数を含む

\*2 販売量(天然ガス)には、LNG販売分を含む

	前期中計平均 (2009~13年度)	2014 年度	2015 年度	中計目標 2018年度	ビジョン目標 2022年度
営業キャッシュフロー	482億円	623億円	550億円	580億円	600億円
D/Eレシオ	0.7	0.5	0.5	1.0以下	1.0以下
ROA	2.1%	3.6%	4%程度	3%程度	3%以上